



Toyama New Industry Organization

イノベーション推進センター

産学官の連携とイノベーションの推進による
富山ならではの新産業の育成・創出

5. 産学官連携の推進

■ グリーン成長戦略分野の取組み

地球温暖化対策で成長が期待される産業分野として「次世代自動車」、「環境・エネルギー」を含む新たな「グリーン成長戦略」分野の取組みを推進するため、セミナー等の開催や先進地視察による情報提供、情報交換の場を提供します。また、産学官グループによるこの分野に係る研究開発を支援します。

	単独企業枠	複数企業枠
助 成 率	2/3*	
助 成 期 間	最長3箇年度	
助成限度額	500万円/年	1,000万円/年

※ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10/10。

■ ロボット技術研究ネットワークの推進

次世代ロボット関連産業の創出、育成、ロボットの利活用を促進するため、情報提供、情報交換の場を提供し、セミナー開催等により、ネットワークを推進します。

■ 医薬工連携イノベーション創出の推進

医療現場等における多数のニーズをもとに、医薬品関連企業やものづくり企業と医療・介護関係者、医療機関等が連携し、イノベーション創出を推進します。

■ アルミ産業成長力強化戦略の推進

アルミの特性を活かした研究開発プロジェクトの事業化やアルミのグリーン化に関する研究開発を支援するほか、インターンシップ、海外技術者との交流を通じた人材育成等を実施します。

■ ヘルスケア産業育成創出の推進

ヘルスケア産業研究会を設置し、セミナー開催、コーディネーターによるマッチング活動、ヘルスケア製品開発の支援等を行います。

■ 企業におけるデジタル化の推進

IoT等、デジタル技術の初期導入に関する相談窓口を設け、総合的な対応を実施します。企業での出前講座、指導者派遣による企業課題の解決に向けた提案を行っています。

デジタルハブ
(技術交流ビル1階)



6. 新産業・新技術の創出支援

産学官オープンイノベーションの推進

バイオ、医薬工連携、航空機、次世代自動車、ロボット、環境・エネルギー、ものづくりなどの成長分野を中心に、産学官グループから研究開発テーマを公募し、新商品・新事業創出に結びつく研究開発を支援します。

	イノベーション創出促進事業
助成率	2／3*
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	500万円／年

※ただし、県内の大学・公設試等との共同研究開発経費は10／10。



富山湾海洋深層水の電解質を活用した病者用食品としての経口補水液の開発（医薬品・化粧品、健康食品・飲料等の製造メーカー&富山大学）

環境配慮型疎水化CNFマスターバッチの開発（産業機械メーカー&富山県立大学）

ものづくり研究開発支援（とやま中小企業チャレンジファンド事業）

県内中小企業者（グループ含む）の新商品・新技術の研究開発等による競争力強化の取り組みに対し助成します。

助成率	1／2
助成期間	最長2箇年度
助成限度額	200万円

※ただし、工具器具・備品費の助成額は100万円以内。

成長型中小企業等研究開発支援

特定ものづくり基盤技術の高度化に資する研究開発について、中小企業等及び地域の大学等との研究機関等が連携して行う取り組みを支援する事業*に関し事業管理機関として支援します。
※本事業は経済産業省が実施する事業です。

助成率	(1)中小企業等:2／3以内 (2)大学・公設試等:定額
助成期間	2年度又は3年度
助成限度額	通常枠:単年度あたり4,500万円以下 2年間合計で7,500万円以下 3年間合計で9,750万円以下

7. 富山県ものづくり研究開発センター

富山県ものづくり研究開発センターの概要

センターは富山県産業技術研究開発センターと新世紀産業機構が共同で運営しています。
10m法の電波暗室、最先端設備等設置スペースであるデジタルものづくりラボ、高機能素材ラボ、CNF製品実証試作ラボ、製品機能・環境負荷評価ラボ、オープンイノベーション・ハブと、研究開発スペースである開発支援棟で構成されています。

最先端設備の開放

- 企業や大学に広く開放します。
- 最先端設備は利用者自らが操作することができます。また基本操作や高度に利用するための技術講習を行います。

研究開発プロジェクトの推進

- 開発支援棟の企業スペースやプロジェクトスペースを活用した研究開発を推進します。
- 異分野融合による技術シーズを創出し、研究開発プロジェクトに繋げる研究会を実施します。

実践的なものづくり人材の育成

- 実践的で高度な知識を有する人材育成のため、長期インターンシップの受け入れや、人材育成講習会を実施します。
- 共同研究方式による企業の若手技術者の育成に取り組みます。

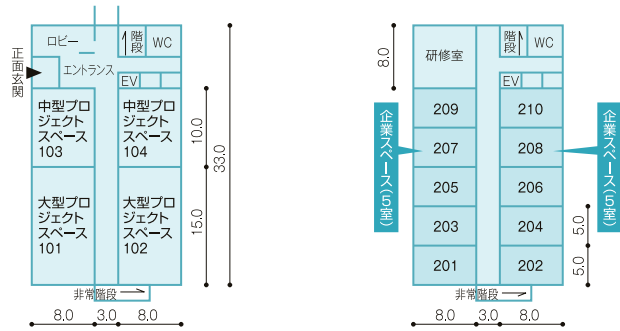
異分野・異業種交流の促進

- 異業種交流セミナーや研究会を開催します。
- 知的所有権センターとの連携により、個別企業の知的財産の一層の活用を図ります。

開発支援棟の研究スペース

カードキーシステムにより入居者は24時間利用できます。

[1階]				[2階]			
プロジェクトスペース				企業スペース			
使用料金	80㎡(2室)	月額	184,300円	使用料金	40㎡(10室)	月額	92,100円
	120㎡(2室)	月額	276,500円				

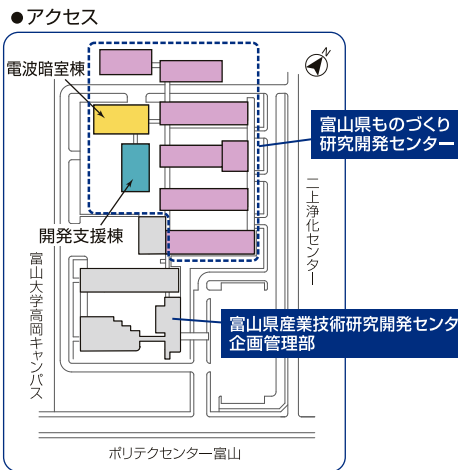


交通アクセス

- | | |
|---------|---|
| 車の場合 | ・新高岡駅から約20分、高岡駅から約15分
・能越自動車道 高岡北インターから約10分 |
| バスの場合 | ・新高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園（富大高岡）」、乗車約30分「富大高岡キャンパス」下車 徒歩3分
・高岡駅前発 加越能バス「城光寺運動公園（富大高岡）」、乗車約15分「富大高岡キャンパス」下車 徒歩3分 |
| 路面電車の場合 | ・高岡駅発 万葉線、乗車約20分「米島口」下車 徒歩約20分 |



電波暗室(10m法、小型)／外部からの電磁波の影響を受けず、また、外部機器に影響を与えない電氣的に隔離された部屋。



高岡市二上町122
(富山県産業技術研究開発センター敷地内)
TEL.0766-50-8280 FAX.0766-50-8283

CASE 2 株式会社高田製作所 高田 晃一 社長

鋳造が難しい高純度アルミで商品開発
新商品カーストッパーがヒット商品に

高田製作所が、高純度アルミの鋳造法の開発に乗り出したのは平成9年のこと。2年間の試行錯誤の末、鋳物表面によじれたような隙間や穴の出ない、きれいな鋳造法を開発した。そして仕事のかたわら商品開発を続け、カーストッパー「アルデコール」ができたのは平成27年だ。「アルデコール」はエクステリア工事専門店で人気を博したが、そのうちに課題が浮上。「アスファルトの駐車場に設置した際、固定用のボルトが抜けることが起こった」(高田社長)ようだ。

「ものづくり研究開発支援事業」に採択された同社では、特許事務所や富山県産業技術研究開発センターの協力も得て、テコの原理を応用してカーストッパーが起き上がらない構造に設計を変更。耐久性も万全の「ZETTY」を開発したのであった。

その販路開拓を、「中小企業首都圏販路開拓支援事業」(令和4年より「中小企業大都市圏販路開拓支援事業」)のマネージャーの支援を受けながら進めるとともに、建築資材関連の展示会に出展して、エクステリア工事専門店以外の販売ルートの確保に乗り出したのであった。



▲カーストッパー「アルデコール」は高級車のディーラーショールーム、カフェやファッションなどのおしゃれなお店で採用され、認知が進んだ。平成30年にはグッドデザイン賞を受賞。



▲アスファルトの駐車場用に開発されたカーストッパー「ZETTY」。ステップ部分にタイヤがのると、自動車の自重でストッパーが動かなくなるよう設計・デザインされている。

▶鋳造が難しい高純度アルミを素材にして、カーストッパーを開発した高田晃一社長。